

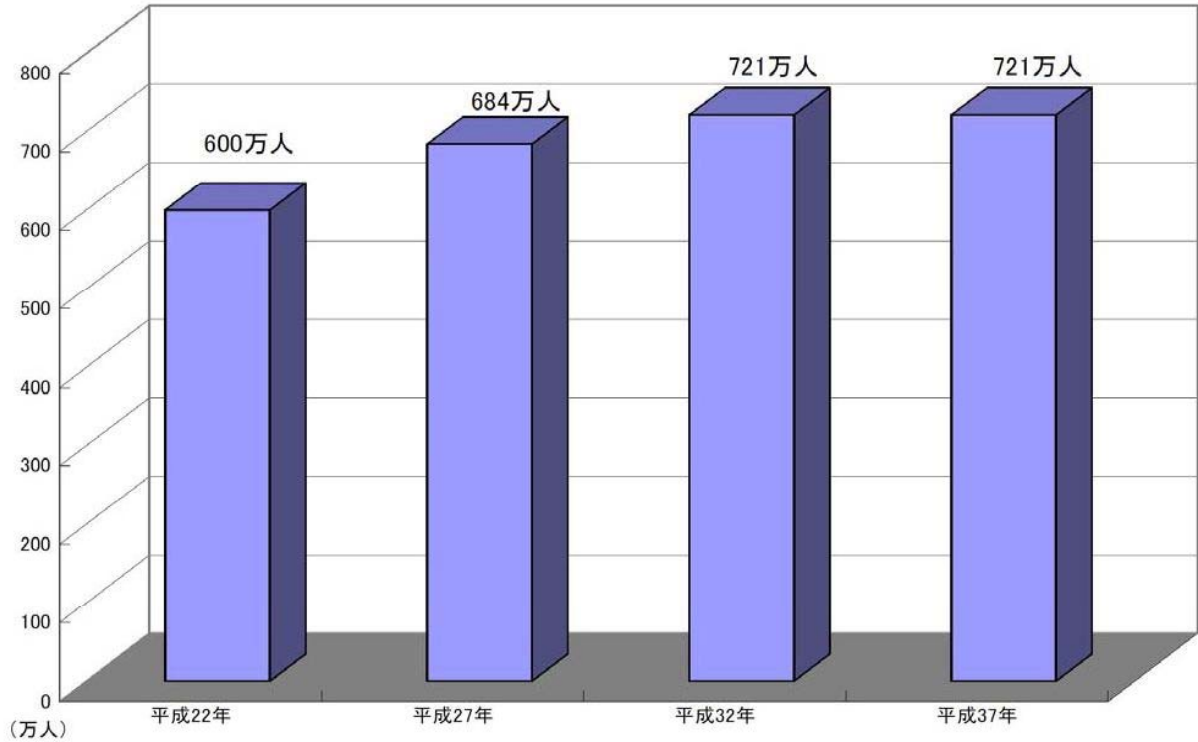
新・総合計画策定のための データ集（追加）

※第2回未来デザイン会議でお渡ししたデータ集の該当ページに入れてください。

企画調整部企画課

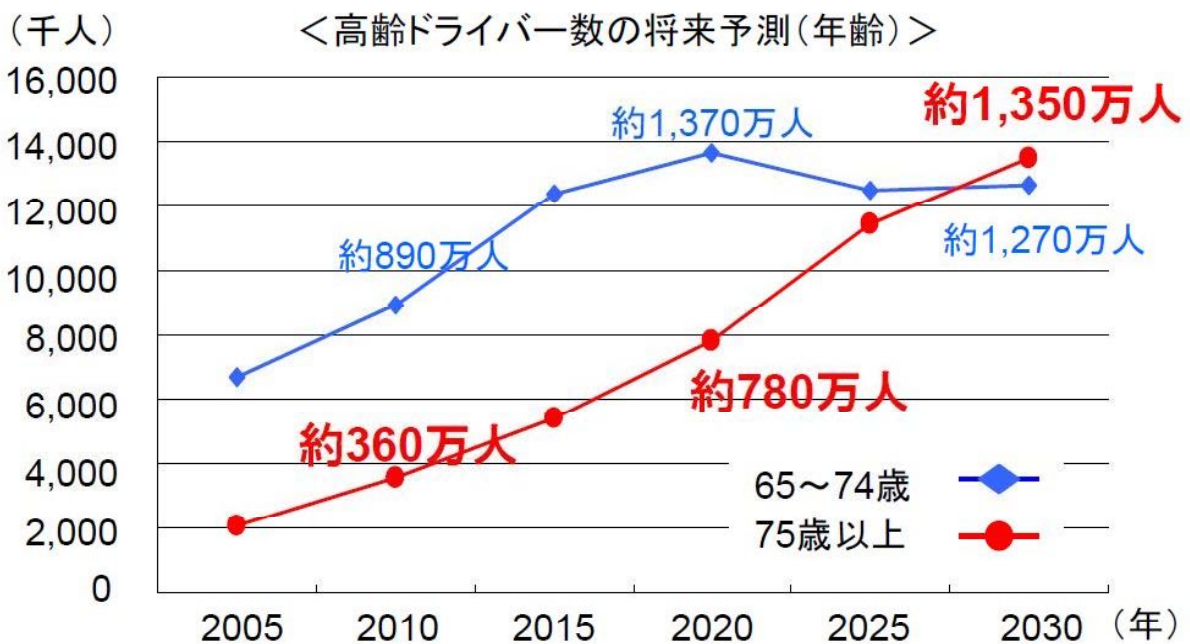
(e) 買い物難民人口の推移予測（全国）

「買い物難民」とは、流通機能や交通網の弱体化とともに、食料品等の日常の買い物が困難な状況に置かれている人々のことである。経済産業省では、平成22年には約600万人の「買い物難民」が存在していると推計しており、今後もその数は増大すると予測される。



資料：経済産業省 HP を基に作成

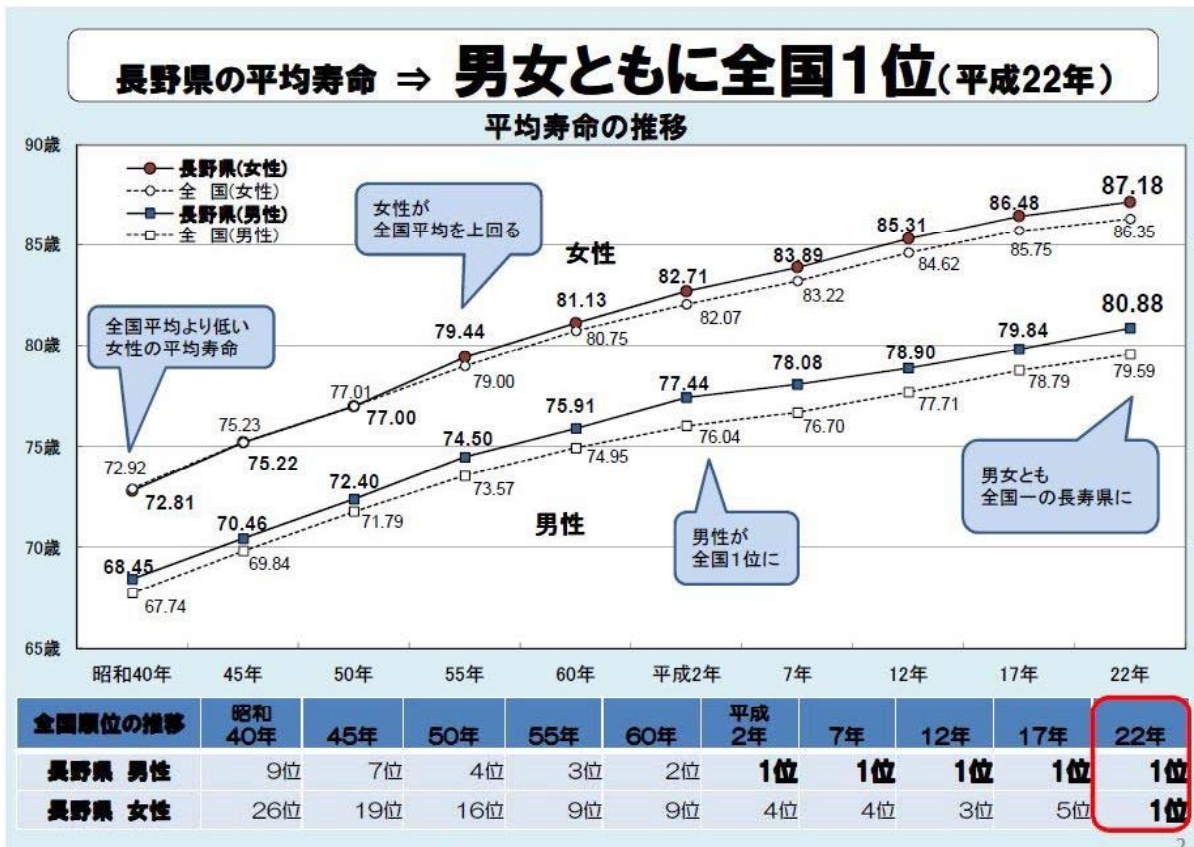
(f) 高齢ドライバー数の将来予測（全国）



資料：(財)日本自動車研究所 HP

(g) 平均寿命男女共に全国1位の長野県の取り組み

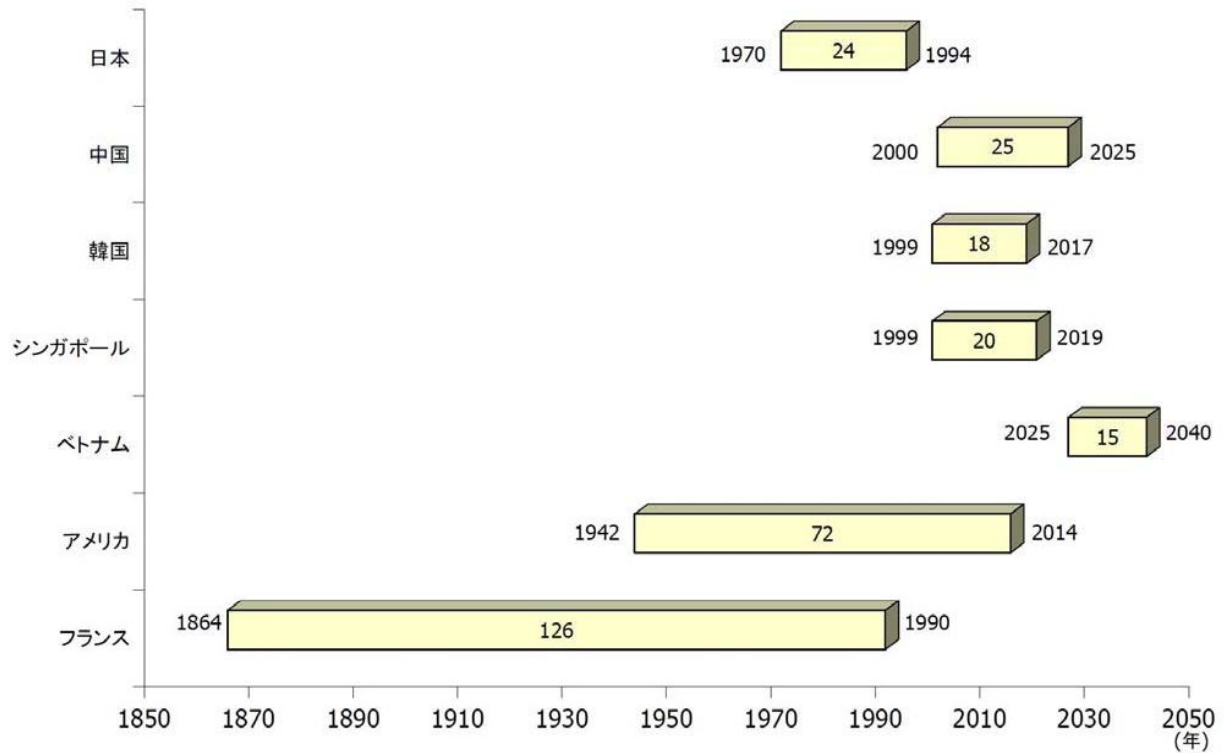
脳血管疾患の死亡率が高かった長野県では、戦後から、自主検診の勧奨や健康教室の開催など健康増進の取り組みに力を入れた。とりわけ、地域の主婦たちを「保健補導員」に任命し県の取り組みに協力した。昭和40年代には、「食生活改善推進員」を創設するなど、予防に重点を置いた自主的な健康づくり活動を推進した。その結果、平均寿命は男女ともに全国1位になった。



資料：長野県 HP

(c) 主要国の倍加年数

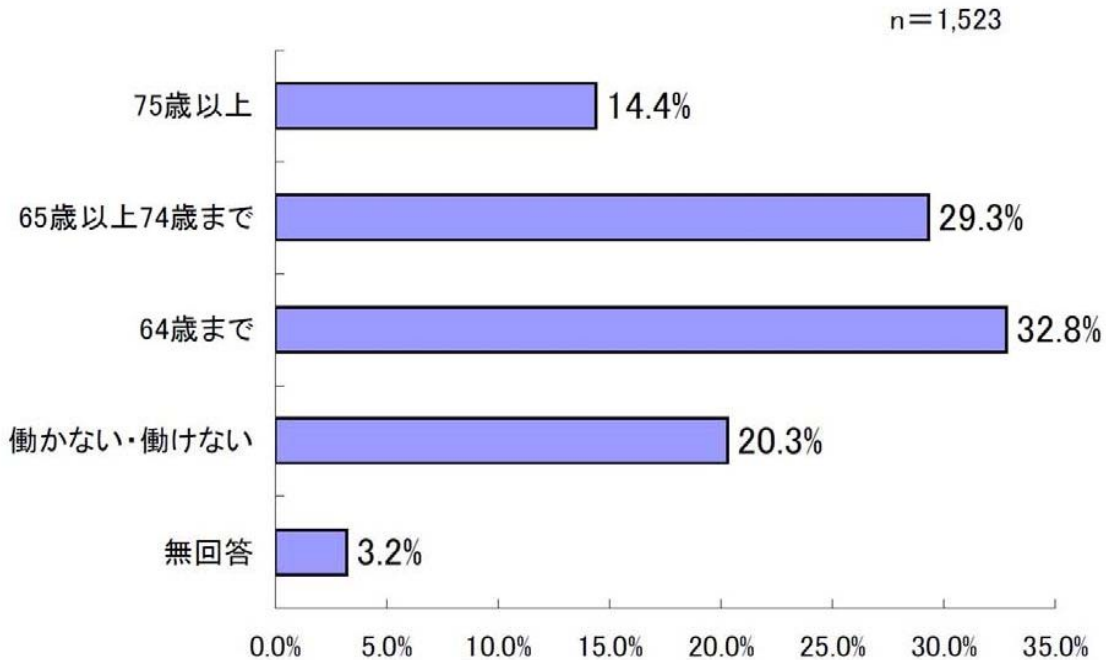
高齢化社会（高齢化率=7%）から高齢社会（高齢化率=14%）に達するまでの所要年数（倍加年数）を国別に表したグラフである。フランスでは126年要しているのに対し、日本では24年という短期間で急激に高齢化が進行している。シンガポールは20年、韓国は18年、ベトナムは15年と推計されており、日本よりも速く高齢化が進む。



資料：国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集(2013)」を基に作成

②-2 何歳まで仕事をしたいか（浜松市）

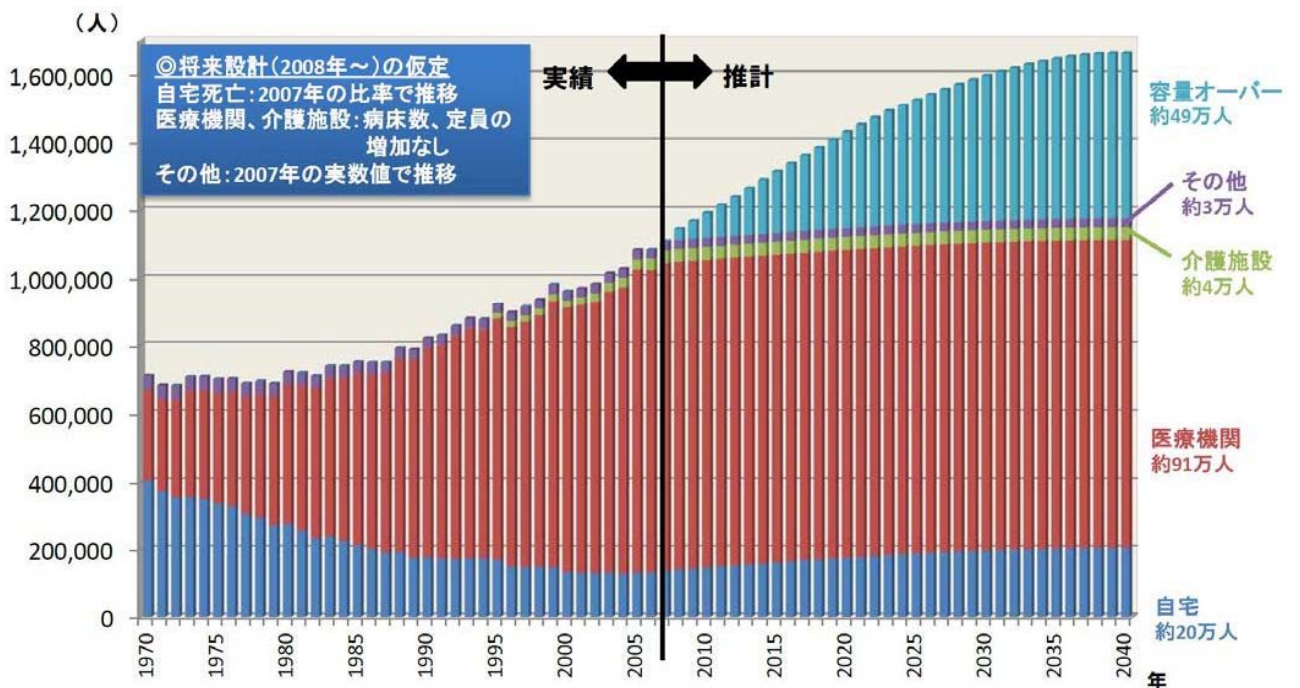
平成 25 年度に実施した市民アンケート調査で「今後、何歳まで仕事をしたいか」と質問したところ、「65 歳以上であっても働きたい」とした人が 4 割を超えた。



資料：浜松市広聴広報課「第 40 回（平成 25 年度）市民アンケート」を基に作成

②-3 今後の看取りの場所

死亡数が増加する中、2040 年には看取られる場所が約 49 万人分足りなくなると推計されている。



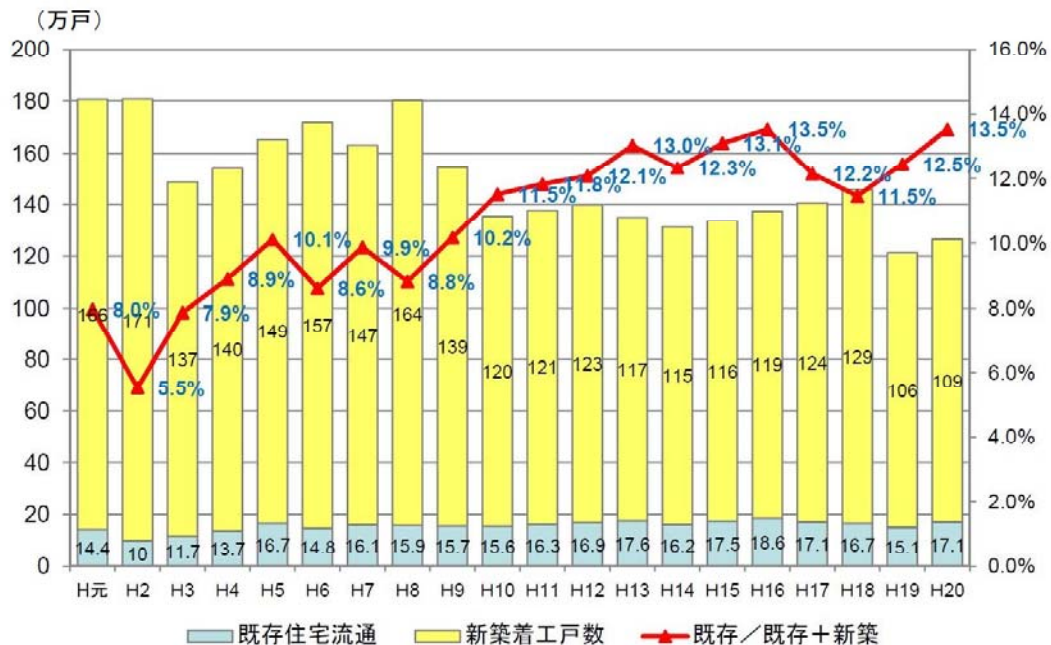
資料：厚生労働省「第 5 回 医療計画の見直し等に関する検討会資料」

(c) 中古住宅流通量の推移と国際比較

我が国の中古住宅流通シェアは約 13.5%（平成 20 年）であり、欧米諸国と比べると低い水準にある。また、新築着工戸数が減少する中で、中古住宅流通のウェイトは大きくなりつつある。



【中古住宅流通シェアの推移】



(資料)住宅・土地統計調査(総務省)、住宅着工統計(国土交通省)

資料：国土交通省「中古住宅流通促進・活用に関する研究会(参考資料)」

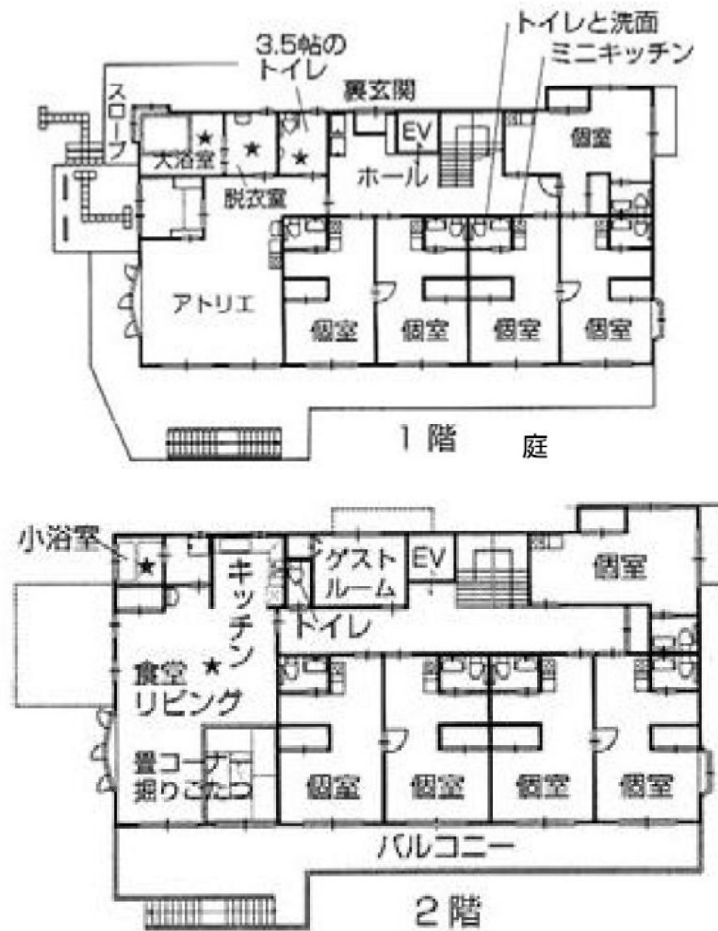
(d) 参考事例

(ア) 元気な高齢者同士の共同生活の取り組み

NPO 法人 COCO 湘南が運営する「グループリビング COCO 湘南台」では、高齢者同士のルームシェアを実施している。居住者は、ミニキッチン、洗面所、トイレが備わった個室 (25 m²) を持ちながら、浴室やリビングはシェアして生活している。共有スペースの掃除や夕食の準備は外部委託であるが、洗濯や買い物、自室の掃除は各自で行う。

住まい方のルールは、共同生活を送る居住者全員で取り決め、必要な福祉サービスについては各自で選択している。

〈COCO湘南台〉平面図



資料：(株)三菱総合研究所 HP

(d) 参考事例

(イ) 住み替えの促進

千葉県佐倉市のニュータウン「ユーカーが丘」では、「ハッピーサークルシステム」という住み替え支援を導入している。「ユーカーが丘」内にある中古住宅は、デベロッパーに査定額 100%で買い取られ、希望に応じて住み替えが簡単にできるシステムである。子どもの独立を機に、コンパクトサイズの団地内マンションに転居するケースも多い。

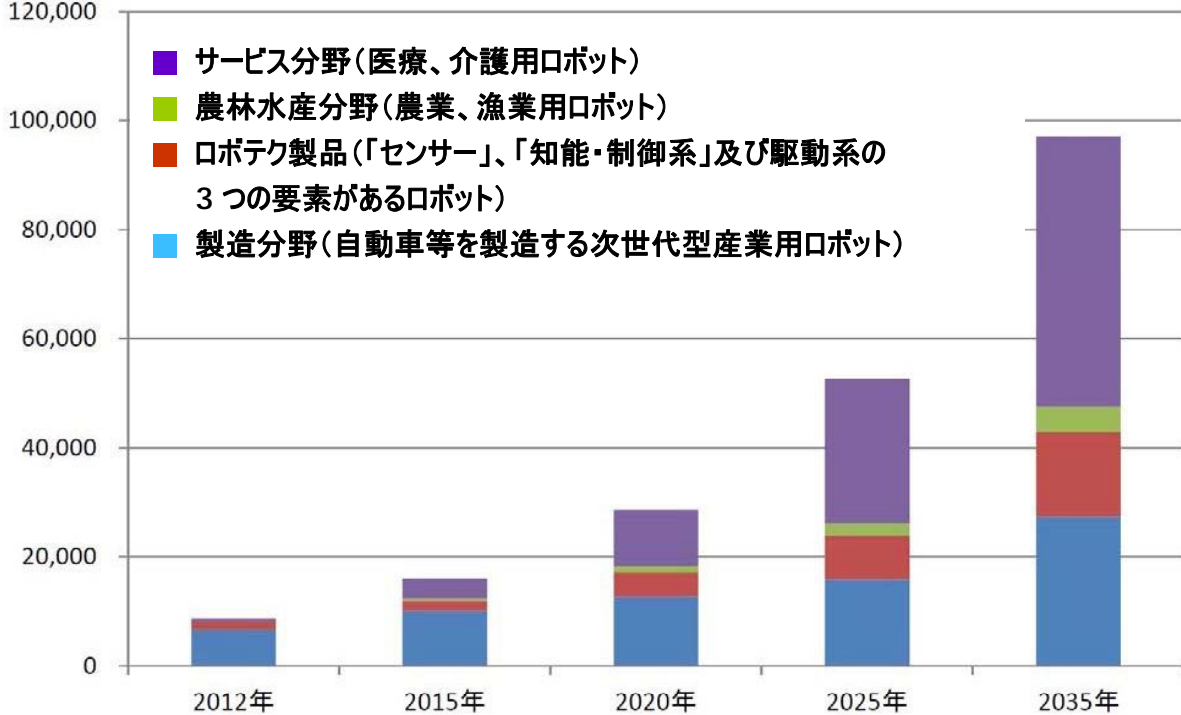


資料：ユーカーが丘 HP

④-5 日本のロボット産業の市場規模推計

ロボット産業はサービス分野を中心に、今後市場が拡大すると予測される。

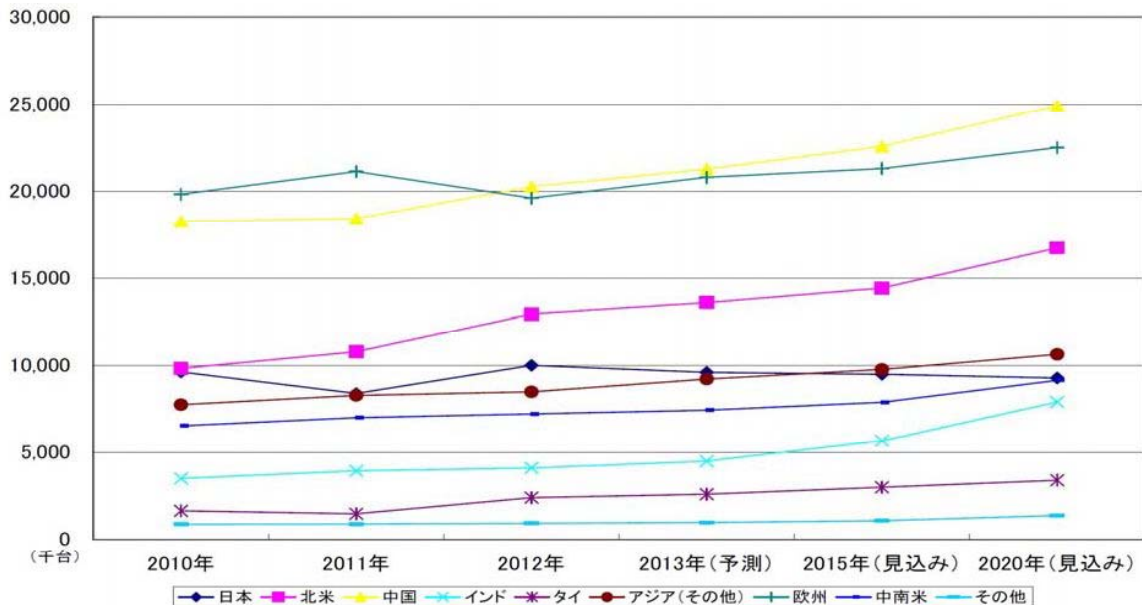
(単位:億円)



資料：経済産業省 HP

④-6 世界の自動車生産台数予測

我が国では、自動車の生産台数は減少する一方、中国や北米、インドでの生産の伸びが予測される。

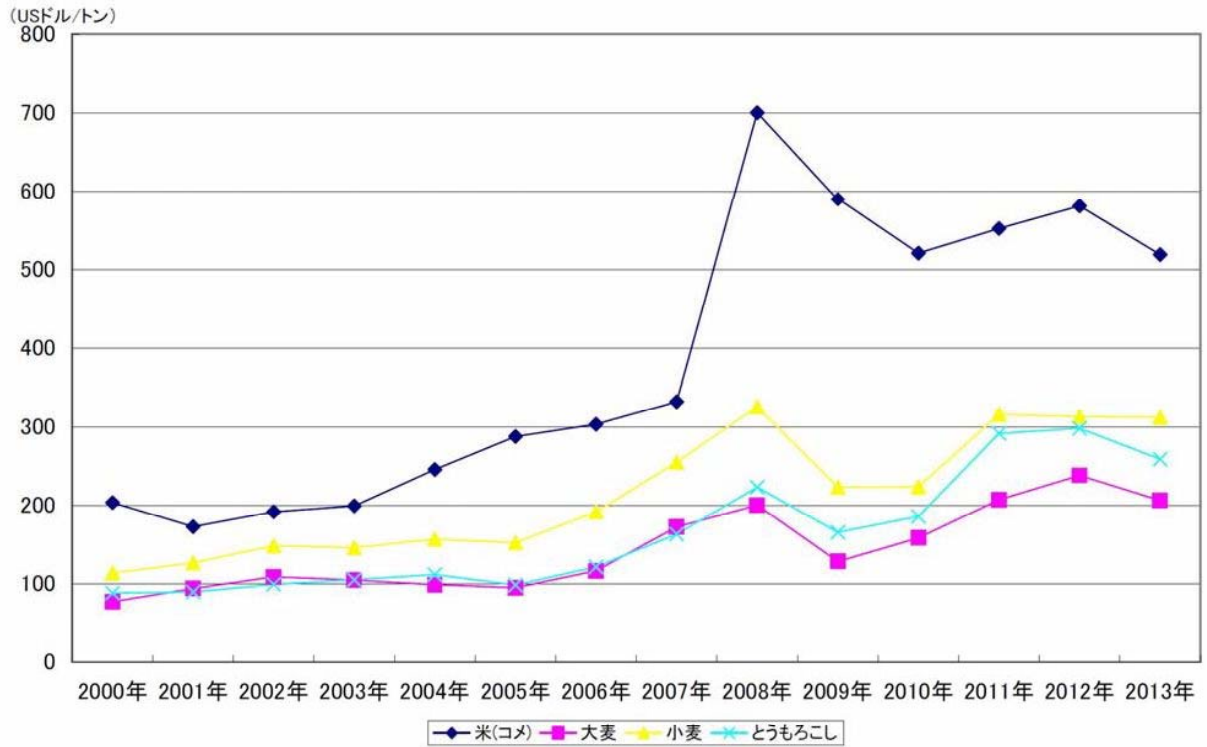


注) その他: オーストラリア、エジプト、モロッコ、南アフリカ

資料：総合技研株式会社 HP を基に作成

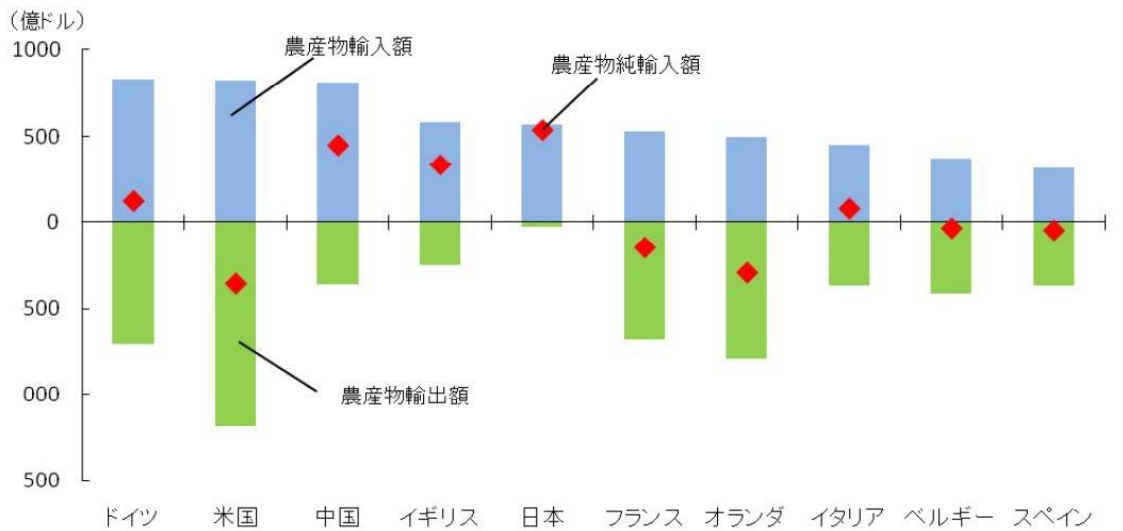
⑤-5 世界の穀物価格の推移

新興国の需要増加等の影響で、穀物価格は上昇傾向にある。



資料：IMF「Primary Commodity Prices」を基に作成

⑤-6 各国の農産物輸入額・輸出額・純輸入額（2008年）

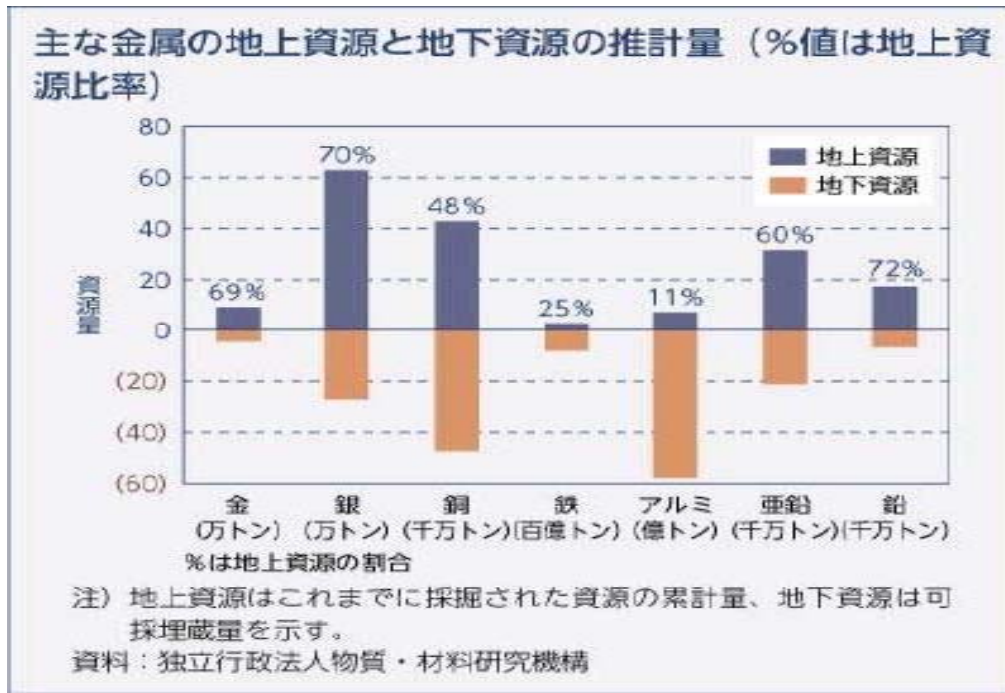


注：農産物純輸入額＝農産物輸入額-農産物輸出額

資料：農林水産省 HP

(c) 主な金属の地上資源と地下資源の推計量

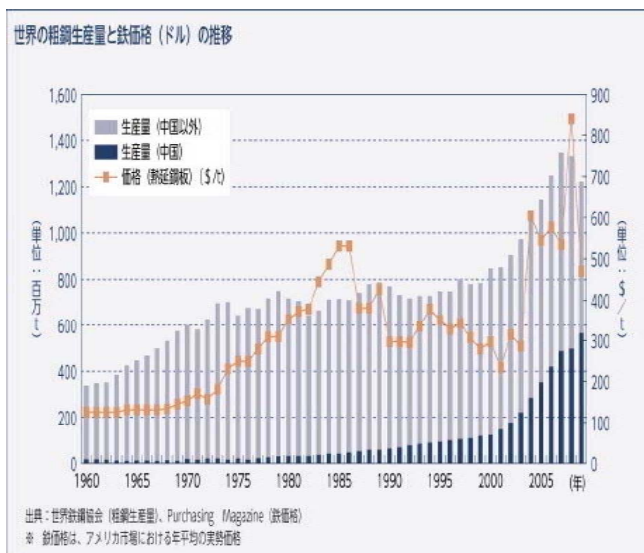
地上資源とは、これまでに採掘された資源の累計であり、金、銀、鉛については約7割を採り切っている。



資料：環境省「環境白書(平成25年度版)」

(d) 世界の粗鋼生産量と銅消費量の推移

粗鋼生産量と銅消費量は、中国の急激な伸びにより上昇傾向にあった。

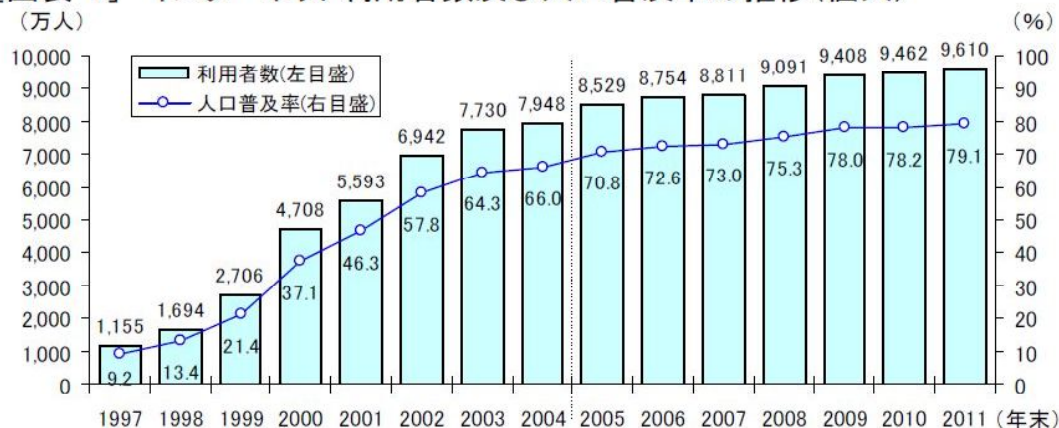


資料：環境省「環境白書(平成25年度版)」

⑦-3 国内のインターネット利用者数及び人口普及率の推移

インターネット利用者数は、2002年には人口普及率は5割を超えた。現在は8割に近づいているが、小幅な伸びにとどまっている。

〔図表-1〕 インターネット利用者数及び人口普及率の推移(個人)



(注1) 利用者の推計は6歳以上(2001年～)4で、調査対象年の1年間に利用した者を調査結果より推計

(注2) インターネット利用の接続機器はPC、携帯電話・PHS、スマートフォン、ゲーム機器等あらゆるものを含み、利用目的もあらゆる内容(個人・仕事・学校での利用等)を含む

(注3) 調査対象年齢は1999年末まで15～69歳、2000年末は15～79歳、2001年末以降は6歳以上

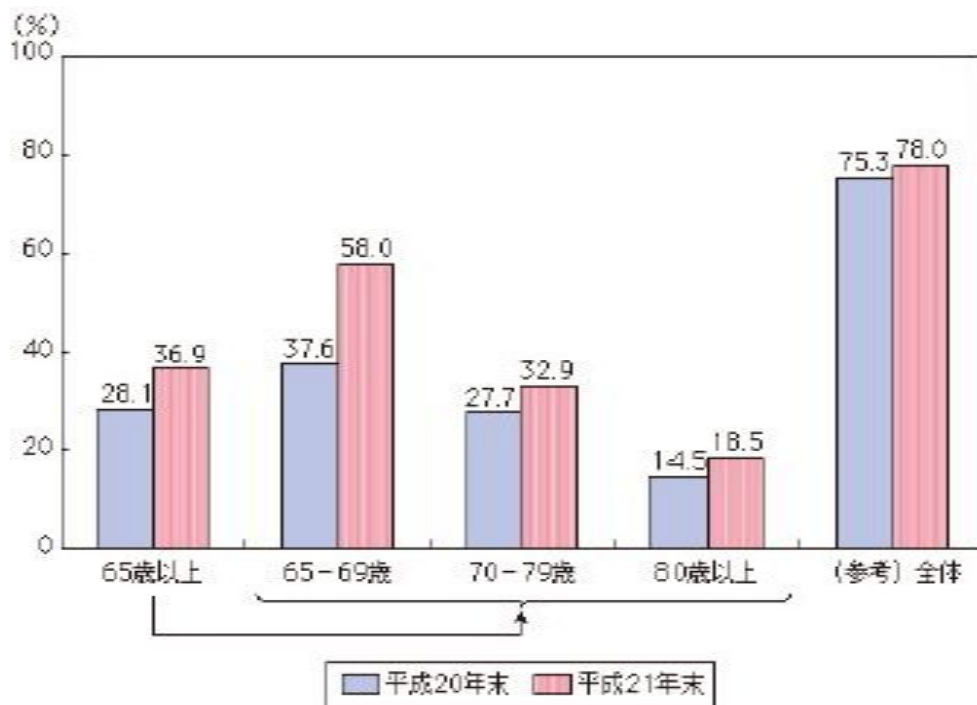
(注4) 1997年～2000年は「通信白書」(現・情報通信白書)

(資料) 総務省「平成22・23年通信利用動向調査」より作成

資料：ニッセイ基礎研究所「高齢者のICT活用促進に向けて」

⑦-4 高齢者のインターネット利用率

高齢者のインターネット利用率は増加傾向にはあるが、全体と比べると依然低い状態である。

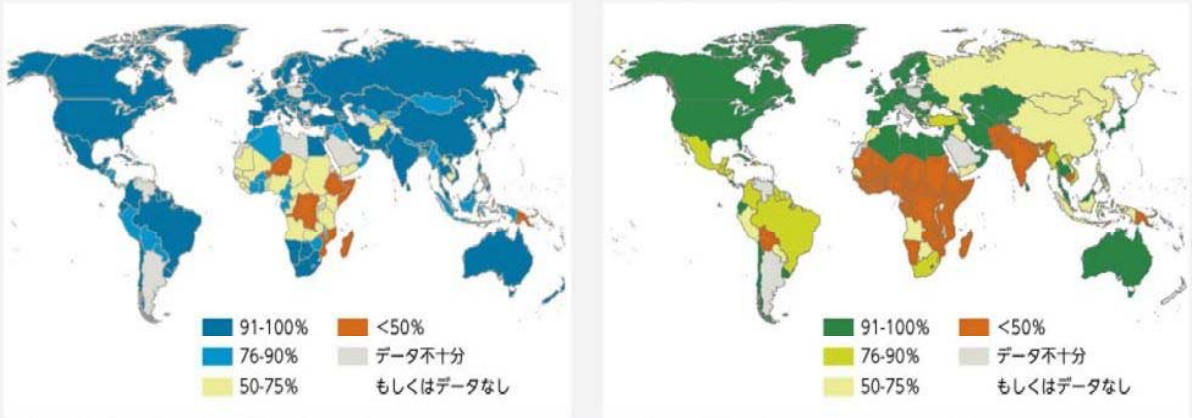


資料：総務省「平成22年度版情報通信白書」

⑨-2 急増する水使用量

(a) 世界の安全な水へのアクセスと衛生施設の整備状況

世界の安全な水へのアクセスと、衛生施設の整備状況



安全な飲料水を使える人口の割合 (2010年)

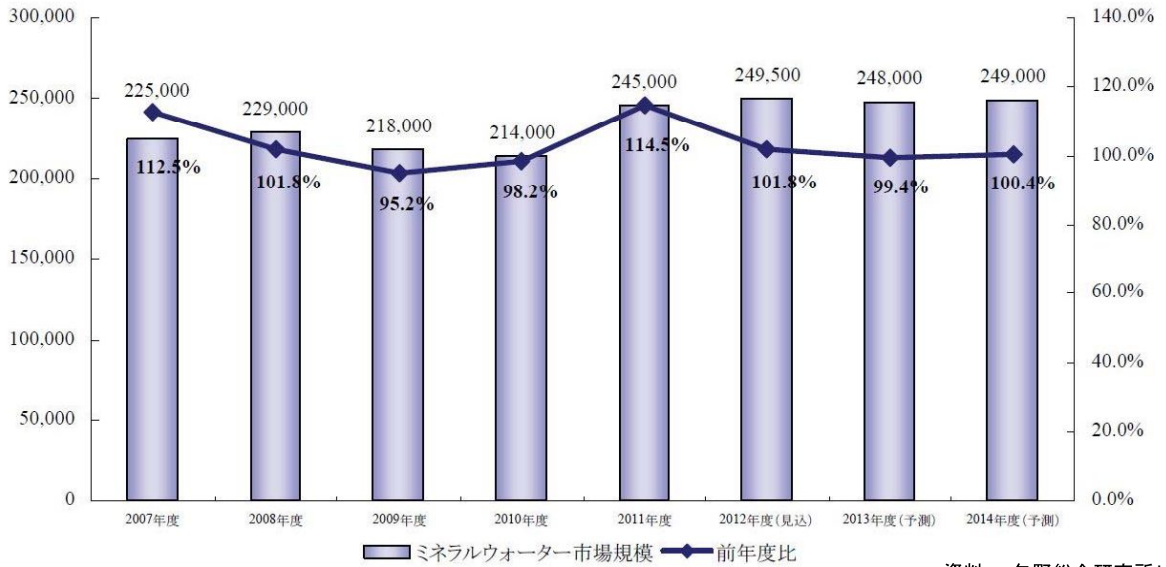
衛生施設 (汲取を含む) を使える人口の割合

資料 : UNICEF(progress on drinking water and sanitation)

(b) ミネラルウォーター市場規模推移

東日本大震災の影響により、一時的に市場は拡大したが、その後は横ばいの状況である。

単位:百万円

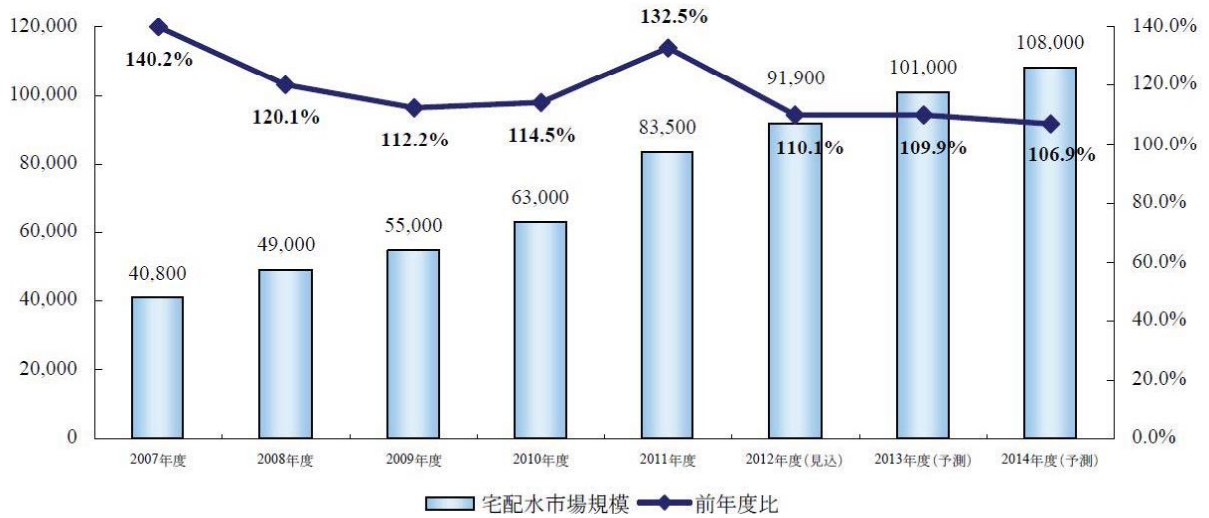


資料 : 矢野総合研究所HP

(c) 宅配水市場規模推移（全国）

年々宅配水市場は拡大傾向にある。2011年度は、東日本大震災の影響により、需要は大幅に伸びた。

単位:百万円



資料：矢野総合研究所HP